

南区社協・福祉だより

ふれあいネットワーク

〔編集・発行〕



社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
広島市南区皆実町一丁目4-46南区地域福祉センター内
TEL 251-0525・251-0505 FAX 256-0990
E-mail : minami@shakyohiroshima-city.or.jp

昨年、8月20日に発生した大雨による土砂災害において74名の尊い命が犠牲となり、被災世帯は5,000世帯に及び甚大な被害を被りました。被災された皆様、ならびに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

わたしのまちの地(学)区社協

近年、自然災害が多発化し、甚大な被害を受けることも多くなりました。そこで、自然災害が発生した場合でも、その被害を軽減するため、南区内の地(学)区社協で様々な取り組みが実施されています。この度は、その一部をご紹介します。

比治山学区



園児さんも避難訓練に参加しました

宇品東地区



災害に備え、研修会を開催しました

宇品西地区



クロスロードゲームを体験してみました

青崎地区



災害ボランティアについての研修会を開催しました

目次 ~ 主な内容 ~

- 「地(学)区社協活動紹介(青崎地区・比治山学区・宇品東地区・宇品西地区)」 P2,P3
- 「平成26年度 南区社協事業計画」ほか P4
- 「平成26年度 街頭募金経過報告」ほか P5
- 「愛の灯」ほか P6

みんなの安心・安全に向けて!! (比治山学区)

平成26年11月1日、東雲本町第一町内会・第二町内会と、(社福)微妙福祉会は災害発生に備え、避難支援協定(災害相互応援協力協定)を結び、比治山学区自主防災会連合会と合同で総合防災訓練を行いました。

協定は、第二みみょう保育園が十分な耐震基準を満たしていることや居住施設、食糧備蓄及び資機材が揃っていることから、生活避難所や広域避難所が開設されるまでの一時的な避難所として第二みみょう保育園を開放すること、地域の皆さんが協力して、みみょう保育園、第二みみょう保育園の子ども達や地域の災害時要援護者を安全に避難誘導することを内容としています。

総合防災訓練では、実際に最大震度6弱の地震が起こったと想定し、余震に注意しながら協定に従って子ども達や要援護者に扮した人達を避難誘導しました。

炊き出し訓練や災害備蓄品の展示も併せて行い、充実した内容でした。

また、訓練を通して、町内会、園児の保護者など関係者の皆さんに協定のことを知っていただくことにもつながりました。

「訓練でできないことは、いざという時にできない」と参加された皆さんも話しておられ、具体的な想定に基づく訓練の必要性を感じることができました。



避難支援協定を結びました



子ども達や車いすの人達も避難します



災害備蓄品の展示もありました



炊き出し訓練、美味しくできたかな

福祉のまちづくり研修会～助け合いのまちを目指して～ (宇品東地区)

宇品東地区社会福祉協議会では、平成26年12月3日(水)に「福祉のまちづくり研修会」が開催され、37名の地域の皆さんが講演を聞きました。

この度の研修会では、皆さんの関心が高い、防災の視点での「まちづくり」をテーマとした講演会を開催しました。自分のことは自分でする「自助」、地域の皆さんやボランティアによる助け合いの「共助」、国や自治体による援助の「公助」があり、最近注目を集めている「共助」について、8月20日の安佐南区・安佐北区での土砂災害での災害ボランティアセンターでの活動事例や自治会の活動を基に、宇品東地区で災害が起こった場合、どのような被害が想定されるのか、災害時、地域にどのような活動が求められるのか、日ごろからどのようなことができるのかといったことなどを学びました。

「今の宇品東地区でできていることの確認や、これからの取り組みのために必要な視点について皆さんと共有できた」と同地区社協の石井会長は話しておられました。



多くの方が参加されました



皆さん、熱心に講義を聞かれていました

クロスロードゲーム 体験しました!! (宇品西地区)

宇品西地区社会福祉協議会では、平成26年7月23日(水)に「住民福祉講座」を開催しました。この講座は、毎年開催されているものですが、近年、自然災害が多発していることや被害規模が大きくなっていることから、防災・減災をテーマとしました。

この度の講座では、クロスロードゲームを体験し、災害時にどのような対応を求められるのか模擬体験をしました。

クロスロードゲームでは、参加者の議論がポイントになります。町内会や自主防災会の人など33名の参加者が災害が起こった場合に実際にどのように対応するか熱心に議論され、実りのある講座になりました。

参加された人たちからも「普段からの活動の延長に災害時の対応がある。普段からの地域住民同士の関係づくりや防災の取り組みを進めていくことが大事。」といった発言もあり、災害時には普段からの関係性が大事になるということが共有できました。

「クロスロードゲームって何???

「クロスロード」とは、重大な分かれ道、人生の岐路といった意味があります。クロスロードゲームは、災害対応の教材で、大地震の被害軽減を目的に2004年7月に開発されました。カードには、大災害が発生したときに実際に生じた事例が書かれており、自分ならどうするか、YesかNoで判断し、意見を出し合います。はっきりとした正解があるわけではありません。このゲームの目的は、一人一人多様な意見や価値観を持っていること、災害が起きる前から考えておくことの大切さを学ぶことです。

南区社会福祉協議会では、このゲームを貸し出しします。「自分の地域でもやってみよう」「どのような問題があるのを知りたい」など、興味を持たれた方はお気軽にお問い合わせください!



クロスロードゲームを体験しました



真剣に講師の話を聞かれていました



熱心な議論もありました

「災害ボランティア～わたしたちにできること～」(青崎地区)

青崎地区社会福祉協議会では、平成26年12月6日(土)に「ボランティアバンク登録者研修会」を開催しました。74名もの人が参加され、災害ボランティアや減災のための取り組みなどについて学びました。

南消防署 青崎出張所の菅田所長を講師にお招きし、災害が起こった場合の青崎地区の被害状況や減災のための取り組みについて学びました。

また、この度の土砂災害での災害ボランティアセンターの活動を参考に、災害ボランティアについて学んだり、クロスロードゲームを体験し、災害時にどのような対応を求められるのか模擬体験をしました。

「いざという時のために家族でどこに避難するかなど話し合っておくことが大切じゃね」、「災害に備え、地域のつながりを作っておくことが大事なんだ」と参加された人たちもしきりにうなずいておられ、災害時に備えるということは、地域のつながりを深めていくことなんだと学ばれました。



講師の菅田さん(南消防署 青崎出張所)です



スライドを用いたわかりやすい講演でした



多くの皆さんが参加されました

平成26年度 事業計画

「みんなで作る ささえあいのまち」をスローガンとした地域福祉活動第6次5か年計画(平成25年度～平成29年度)に基づき、新たな課題(社会的孤立・生活困窮者支援等)にも取り組みます。

1. たすけあいのまちをつくります

(1) 小地域福祉活動の推進

① 新・福祉のまちづくり総合推進事業の推進

「新・福祉のまちづくり総合推進事業」を中心として、地区社協による福祉のまちづくりの総合的な推進を支援します。

② 福祉のまちづくりプランの策定支援

住み良い地域づくりのため、行政と協働して福祉のまちづくりプランの策定を支援します。

③ 地区社協活動の拠点づくりの支援

地区社協がより住民から見える存在となり、住民自らが行う実践活動をより強力に推進する原動力となるよう、地区社協活動拠点の設置・整備を支援します。

(2) 福祉教育の推進

① 地域で進める子どもから大人までの学び

地域、学校、企業、団体などとの連携により、「やさしさ発見プログラム事業」を活用した福祉教育を一層広めます。

(3) たすけあう活動の推進と発信

① ボランティア活動の推進

多様な福祉ニーズに沿ってボランティアの育成を進めるとともに、ボランティアがいきいきと活動できる場を広げます。

② 災害ボランティアセンターの体制づくり

市社協と連携し、区災害ボランティアセンターマニュアルに従ってシミュレーションを行い、必要に応じてマニュアルの見直し作業を行います。

また、災害時に備えて福祉施設・関係機関等との連携体制づくりに取り組みます。

③ 地域福祉活動や福祉情報の発信

より多くの区民に福祉情報が届くよう、多様な媒体を取り入れた情報発信を行います。

② さまざまな生活課題のある人への支援

社協の活動を活かして、本人による課題解決を支援し、地域の関係機関・団体と積極的に連携しながら、ネットワークによる課題解決を進めます。

(2) 権利擁護の推進

① 福祉サービス利用援助事業「かけはし」の推進

事業利用の相談から契約に至るまでの窓口機能を担うとともに、他機関と協力して利用者への支援体制をつくり、日々の生活支援に努めます。

② 成年後見事業「こうけん」の推進

市社協と協働し、後見支援員の養成活動や成年後見推進団体との情報交換等の連携体制の強化に努めます。

(3) 支えあいの輪づくりの支援

① 当事者活動の支援

社会的孤立にある人に、当事者活動やグループについての情報提供等を行い、生きがいや仲間づくりを支援し、社会参加につながる橋渡しを行います。

また、当事者や家族の活動や仲間づくり、組織化を側面的に支援し、主体的活動への協力支援を行います。

② 関係機関・団体とのネットワークづくりの推進

社協の連絡調整機能を活かし、さまざまな団体との協働の取り組みを進めます。

(4) 新たな仕組みづくりの推進

① 新たな社会的課題への対応

新たな地域課題の情報収集を行い、市社協が行う課題別テーマ別検討委員会による調査・研究、関係者向け研修会などへ参画し、社会的課題に対応し、地域の特性に応じた先駆的な取り組みの支援、普遍化を目指す取り組みについての事業化を検討します。

2. 一人ひとりの暮らしをささえます

(1) 相談援助機能の強化

① 相談機能の強化とニーズ把握

さまざまな相談の受け皿としての心配ごと相談や在宅訪問相談、貸付相談、ボランティア相談などの機能を強化します。

3. 活動を進める体制を強化します

(1) 組織・財政の強化

① 財源の確保

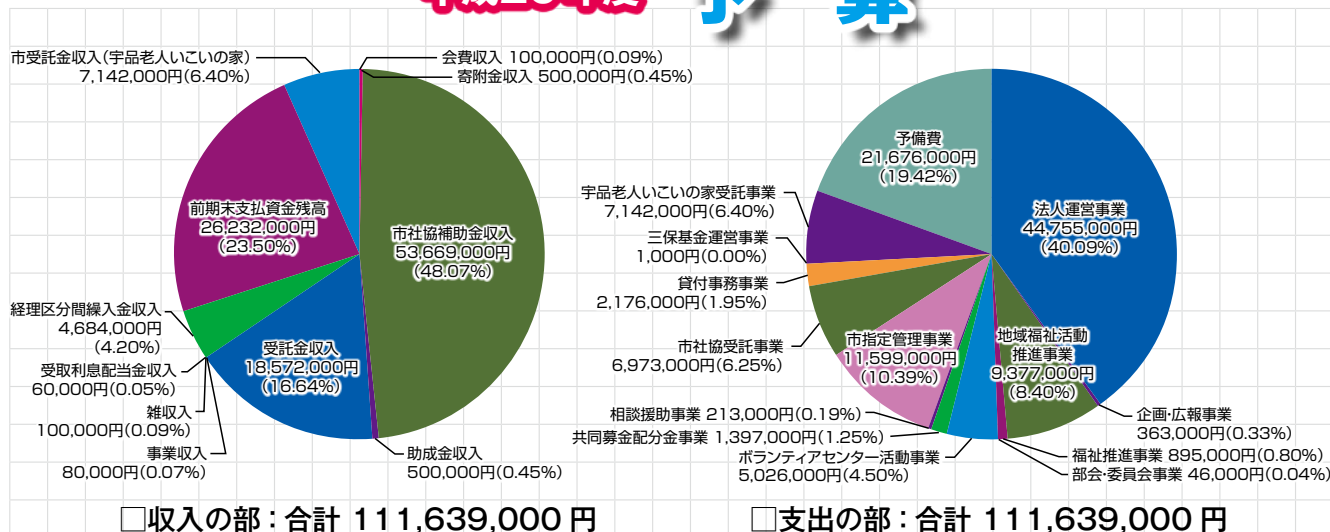
② 組織の効率的運営についての検討協力

(2) 職員体制の整備・強化

① 人材の確保

② 職員資質の向上

平成26年度 予算





赤い羽根 共同募金 経過報告

～あなたの募金は、あなたの町へ～

今年も、「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございました。

おかげさまで、平成26年12月31日現在、南区の地域・企業・団体の皆様からの募金は、総額7,572,337円に上りました。募金は、県単位で集約されて、配分委員会によって地域の福祉活動に配分されます。南区内の社協関係では、南区社協で毎年実施している「ボランティアフェスティバル」や「在宅介護者の集い」の開催、本広報誌に使わせていただいています。また、各地区(学区)社協で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」や「地区ボランティアバンク」など誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりのための取り組みを進めていくために使われています。

募金をくださった地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げると共に、今後とも、「じぶんの町を良くするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願いたします。



児童も頑張りました!! 街頭募金

平成26年10月18日(土)、広島駅南口にて、荒神町小学校の児童の皆さんと南区内の地区(学区)社協の役員の皆様で街頭募金活動を行いました。

当日は、10月としては日差しが強い中、児童の皆さんが「赤い羽根の共同募金にご協力お願いします」と、明るく元気に声をかけると、駆け寄って募金して下さる人もいらっしゃいました。

児童の皆さんはこの日のためにかわいいイラストをつけた募金箱も作りました。

30分程度の活動でしたが、24,180円もの募金をいただきました。

この他にも毎年、青崎地区、仁保学区、楠那学区、大河地区(今年度は公民館改修工事のため未実施)では街頭募金に取り組まれています。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

街頭募金は、募金を集めるだけでなく、多くの人に募金の目的などを知っていただき、関心をもっていただくきっかけづくりになります。

このように共同募金は皆様のご理解・ご協力で成り立っています。

これからも共同募金へのご協力よろしくお願いたします。



児童も大きな声で頑張りました



自分たちで作った募金箱も大活躍です

賛助会員を募集しています!!

南区社会福祉協議会では、誰もがいきいきと安心して暮らせる『福祉のまちづくり』に取り組んでいます。いただいたお金は、地域で取り組まれている「ふれあい・いきいきサロン」事業の財源としますので、地域への還元になります。南区の福祉をますます充実させていくためにも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

■ 賛助会員(個人・団体)

- ・1口 1,000円(何口でもご加入いただけます)
- ・ご加入については下記までお問い合わせ下さい。

■ お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
〒734-8523 広島市南区皆実町1-4-46
TEL 082-251-0525
FAX 082-256-0990

賛助会員にお申込みいただきありがとうございます。
平成26年度は、52口の申込がありました。

受付期間 平成26年4月1日～12月31日まで

南区身体障害者福祉協会 様

松本 正則 様(似島町) 南区母子寡婦福祉会 様(皆実町)

健康体操同好会あじさい 様(宇品御幸)

ヨーガ同好会 様(宇品西) 匿名希望の皆様

ご寄付をお願いいたします。

○物品は、古切手・アルミ缶・車いすなど。(バスカードの受付は終了しました。)

○金銭は、祝い返し・香典返し・各種募金・チャリティーバザーやコンサートの収益金など。

また、社会福祉法人に寄付された場合、寄付金控除の対象となります。寄付を希望される場合は直接南区役所別館(3階)にお持ち下さい。地域の皆様からいただきました寄付金は南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

「主な自主財源の事業」

○地域福祉活動推進事業

- ・地区(学区)社協活動の援助(ふれあい・いきいきサロン活動費等)

○ボランティア活動推進事業

- ・ボランティアセンターの運営

○心配ごと相談事業

○福祉事業

- ・老人福祉事業
- ・児童福祉事業
- ・障がい児(者)福祉事業

○広報事業

お申し込み・お問合せ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
電話 251-0525

愛の灯

いつもご寄付のほどありがとうございます。
皆様からお預かりしたご寄付は、南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

受付期間 **平成26年4月1日～
12月31日まで**

● 寄付金

一般寄付

広島市立舟入高等学校JRC部 様(西霞町)

● 物品寄付

上東雲町老人クラブ若葉会 様(上東雲町)

北村 匠 様(仁保)

広島段原日出郵便局 様(段原日出)

広島難病団体連絡協議会 様(皆実町)

岡田 憲明 様・平川 加恵子 様(東本浦・北大河)

坂本 真也 様(宇品神田)

井田歯科医院 様(宇品神田)

黒神 隆 様(西旭町)

広島城南ロータリークラブ 様(中区基町)

川中 真志 様(比治山本町)

宮崎 弘光 様(宇品海岸)

向井 利子 様(安佐北区口田)

川島 好晴 様(仁保)

北野 太則 様(宇品東)

ちびっこすくすく園 様(青崎)

浜田 周治 様(向洋新町)

小林 小百合 様(宇品神田)

ホープ薬局 様(宇品神田)

広島大州郵便局 様(大州)

フジ工業(株) 様(仁保)

広島県立病院 地域連携室 様(宇品神田)

太田 恭寛 様(皆実町)

深山 真知子 様(東雲本町)

広島市立仁保小学校 様(仁保新町)

広島市立仁保中学校 様(仁保)

田村 久志 様(宇品御幸)

中野 忠男 様(仁保)

(有)丸忠工業 様(西本浦町)

蔭本 正美 様(大州)

船本 賢明 様(山城町)

高橋 チエコ 様(皆実町)

甲藤 義弘 様(山城町)

皆実町中通り商店会 様(皆実町)

甲藤 幸子 様(丹那町)

(社福)サンシャイン 特別養護老人ホーム

サンシャイン南蟹屋 様(南蟹屋)

河野 洋文 様(黄金山町)

匿名希望の皆様